

2026 年 1 月  
2025/2026 年米国コーン・アウトルック・カンファレンス  
講演者略歴



ケアリー・シフェラス、アメリカ穀物バイオプロダクト協会 副理事長  
(Cary Sifferath, Vice President, U.S. Grains BioProducts Council)

シフェラスは、アメリカ穀物バイオプロダクト協会の 10 の海外事務所とすべての世界的なプログラムを監督する責任を担っている。1993 年の入職以来、国際業務/アジア担当マネージャー、東南アジア事務所アシスタントディレクター、日本事務所ディレクター、中国事務所ディレクター、チュニジア事務所中東・アフリカ・欧州地域ディレクター、2015 年よりワシントン DC 事務所にてグローバル・プログラム担当シニアディレクターを務め、2022 年より現職に就いている。協会に入職する前は、アイオワ州のケント飼料株式会社で地区営業部長を務めていた。ウィスコンシン大学リバーフォールズ校で農業経済学と動物科学で学士号を取得した。



デレク・ベルトン、カンザス州トウモロコシ・コミッショナ  
(Derek Belton, Kansas Corn Commission)

デレク・ベルトン氏はタンパ在住で、カンザス州トウモロコシの委員を務めている。マリオン郡のベルトン・ファームズを営む同氏は、29 年間委員を務めたテリー・ヴィンダスカ氏の退任に伴い、新たに委員に就任した。ベルトン氏は、カンザス・コーン・コープス若手農家プログラムの第 3 期生として、初めてカンザス州トウモロコシに関わった。ベルトン氏は最近、アメリカ穀物バイオプロダクト協会(USGBC)のラテンアメリカ貿易ミッションにカンザス州のトウモロコシ生産者を代表して参加。現地では、USGBCとの提携を通じて当協会が資金提供するプログラムについて学び、国際的な取り組みが市場開拓、貿易促進、生活向上にどのように寄与するかを学んだ。カンザス州トウモロコシ委員会は、州内の 9 つの作物報告地区から選出された農家によって構成されている。委員会は、市場開発、教育、プロモーション、研究の各分野において、チェックオフ資金をどのように投資するかを決定している。



甲斐諭、九州大学名誉教授、中村学園大学顧問

(Dr. Satoshi Kai, Professor Emeritus, Kyusyu University/Advisor, Nakamura Gakuen University)

1944 年台湾生まれ。宮崎大学農学部畜産学科卒業、九州大学大学院農政経済学専攻修士課程、博士課程修了。1973 年九州大学助手、助教授、教授を経て、2008 年退官(九州大学名誉教授)、同年中村学園大学教授、学長を経て、現在は顧問(中村学園大学名誉教授)。研究分野は農政経済学。国内外の食料の生産・加工・流通を研究。日本農業経済学会長、九州農業経済学会長等を歴任。日本農業経済学会賞等 3 学会賞受賞。文科省、農水省、厚労省、内閣府、福岡県、長崎県、佐賀県、福岡市、北九州市、小郡市等の各種委員を歴任。2020 年瑞宝中授章受章。



ジュリア・ジャン、アーガス・メディア 市場分析マネージャー

(Julia Zhang, Market Analyst Manager, Argus Media)

ジュリア・ジャンは、農業市場分析マネージャーとして 2020 年にアーガスに入社。グローバル農業関連企業で 20 年以上の経験を有する。中国の穀物・油糧種子のファンダメンタル分析において確固たる実績を持つ。アーガスは 50 年以上にわたり、国際商品市場における透明性の向上に努めてきた。正確で信頼性の高い価格設定と実用的な情報を通じて、上流から下流までの商品市場を網羅している。

アーガスは、農業産業市場における情報・コンサルティング・予測を提供する主要プロバイダーである Agritel の情報に加え、農業市場においても同様の専門性を提供している。